祝 全国・関東大会出場おめでとうございます

（敬称略）

7月に行われた中学校総合体育大会の県予選を見事勝ち抜き、矢板中学校 陸上競技部・相撲部・体操競技部・弓道部、泉中学校 水泳部の皆さんが関東大会に出場しました。矢板中学校では、相撲部が7年連続で関東大会に出場するなど、多くの部で連続出場を果たしました。

陸上競技では、全国大会出場の標準記録を超える成績を収めた、福田さん、4×100mリレーの選手の皆さんが、大阪府で行われた全国大会にも出場しました。

全国大会出場を前に福田さんは「関東大会では、走幅跳で足を合わせるのに苦労したが1位になることができた。全国大会では上位入賞できるよう、入念に調整しさらに力を発揮したい」と、意気込みを話してくれました。

4×100mリレー（矢板中）

福田 蒼依（3年）　村上 凛　（3年）
岡崎 心香（3年）　大髙 凛果（3年）
菅野 心桃（3年）　井上 月心（2年）
8月8日（木）～9日（金）
第47回関東中学校陸上競技大会
※全国大会にも出場

100m・走幅跳（矢板中・3年連続）

福田 蒼依（3年）
8月8日（木）～9日（金）
第47回関東中学校陸上競技大会
※全国大会にも出場
※県予選では、100m県記録を更新
※関東大会で走幅跳1位

弓道部・男子（矢板中・4年連続）

大森 捺稀（3年）　宮下 慧大（3年）
佐藤 零　（3年）　小島 大季（2年）
8月8日（木）
第30回関東中学生弓道大会
※関東大会で宮下さんが個人優勝

弓道部・女子（矢板中・5年連続）

大町 恵未（3年）　大野 愛実（3年）
大塚 和子（3年）　笹沼 由唯（3年）
8月8日（木）
第30回関東中学生弓道大会
※関東大会で団体優勝、大町さんが3位

相撲（矢板中・7年連続）

更科 虎丸（3年）　手塚 広治（3年）
渡邉 大地（3年）　加藤 光志（3年）
二渡 大愛（3年）
8月10日（土）
第43回関東中学校相撲選手権大会

100m（矢板中）

森山 結斗（2年）
8月8日（木）～9日（金）
第47回関東中学校陸上競技大会

体操競技・男子（矢板中・2年連続）

君嶋 志通（3年）　熊田 倭士（2年）
清野 莉玖（1年）
8月8日（木）～10日（土）
第50回関東中学校体操競技選手権大会

体操競技・女子（矢板中・4年連続）

小林 愛里（3年）　藤田 六花（2年）
小西 珠希（2年）　田代 侑衣（2年）
米澤 あかり（2年）　大森 雛　（1年）
8月8日（木）～10日（土）
第50回関東中学校体操競技選手権大会

水泳（泉中）

岩本 幸大（2年）　村上 圭吾（1年）
8月7日（水）～9日（金）
第43回関東中学校水泳競技大会

7/22（月） 全国の舞台で戦い抜く

7月末に日本武道館を会場に行われた、全日本剣道道場連盟主催の「第54回 全国道場少年剣道大会」に、小学生の部・中学生の部ともに栃木県代表として出場する市内剣道団体「五葉館」の選手、監督が市役所を訪れ市長に出場報告を行いました。

出場報告をした川崎小6年の髙松さんは「仲間と力を合わせつかんだ小学生最後の全国大会。大会に向けて今まで以上に集中して練習に取り組み、全国優勝目指してがんばりたい」と、熱い意気込みを語ってくれました。

▲（2列目左から）
齋藤市長・中里翔さん・髙松由來さん・小野航太郎さん・伊藤星斗さん・仲川真優さん・長屋監督
（1列目左から）
髙松宥人さん・矢野彩和さん・神部光司さん・山菅颯太さん・鈴木陽さん

7/23（火） ダムを利用した発電

市役所で（株）DK-Powerとの「再生可能エネルギー導入事業に関する協定」の調印式が行われました。この協定は、寺山ダムの高低差64.6mを利用し、官民協働で小水力発電に取り組むことを目的に結ばれたものです。企業側には、施設使用料や売電で得た利益の一部を市に還元、発電機の設置と運営に関わる費用についても負担いただくことになっています。

市長は「再生可能エネルギーの利活用だけでなく、税外収入の確保につながる」と感謝の気持ちを述べました。

▲（左から）
齋藤市長、松浦社長

7/23（火） 田舎の力を活かす

「田舎力甲子園」で佳作を受賞した、矢板東高校リベラルアーツ同好会が市役所を訪れ、市長・塩谷町の見形町長に受賞報告を行いました。これは、京都府の福知山公立大学が、高校生から地域活性化策を募りコンテストを開いているもので、矢板と塩谷の現状・課題から両市町の活性化策などをまとめた企画が、全国から応募のあった322点の中から3番目に当たる佳作を受賞しました。

代表の安達さんは「私たち高校生が主体的に、地元の課題解決に取り組む必要があると思う」と、話してくれました。

▲（2列目左から）
齋藤市長・見形町長・増子晃希さん・坂巻朝香さん・石﨑莉菜さん・稲葉校長・坂本教諭
（1列目左から）
椎貝菜月さん・安達奏音さん・石山琴音さん

7/27（土） 矢板の隠れたスポット

山田の古民家を改装したゲストハウス WASHINKAN（わしんかん）のブックカフェオープン記念イベントが行われ、訪れた約20人の方たちがシェフの作るおいしい料理とともに楽しい時間を過ごしました。ゲストハウスづくりに取り組んでいる地域おこし協力隊員の髙橋潔さんもお手本にしたいと今回の企画をオーナーの加藤さんと共に進めました。

加藤さんは「これからもたくさんの人が集まる場にしていきたい。ここでみんなのやりたいことをみんなでカタチにしていければ」と、話されました。

▲東京の有名レストランなどで職務経験を持つシェフの小早川さんと一緒に、キャンベルワインに合う創作料理をつくるワークショップも開催されました。

7/30（火） 筋トレで健康に

生涯学習館で、元読売巨人軍、現在社会人野球チームの投手コーチを務める星野 真澄氏を迎え、「自宅でできる！筋トレ講座」が開かれました。講座には、約30人の方が参加し、継続した筋トレの重要性や食事の留意点などの座学の後、体力や目的に応じた効果的なトレーニング法を実践形式で学びました。

参加した方からは「短時間のトレーニングでも、効果があることを初めて知った。運動習慣が無かったので、空き時間を見つけて、筋トレを始めてみたい」との感想がありました。

第 27 回 たかはらやまトライアスロン

8 月 4 日（日）、矢板運動公園をスタート・ゴールに、トライアスロン大会が開催されました。オリンピック・スプリント・リレー・キッズの 4 部門に全国から 350 人を超える方が参加し、熱戦を繰り広げました。昨年同様太陽が照り付ける過酷なレースとなりましたが、観客からはそれ以上に熱い声援が選手に送られました。

また、当日は矢板中央高校の生徒や地域団体などから 200 人を超えるボランティアが選手のおもてなしや運営のサポートなどに携わり、大会を大いに盛り上げました。

大会結果（市内参加者）

オリンピックの部（スイム 1.5km/ バイク 40km/ ラン 10km）

順位	氏　名	記　録	順位	氏　名	記　録
24	岡村　秀治	2:49:43	74	斎藤　正樹	3:07:16
32	佐藤　大	2:51:07	113	木下　正三	3:23:16
69	大島　隆宏	3:05:36	130	笹沼　守	3:30:19

スプリントの部（スイム 0.6km/ バイク 20km/ ラン 5km）

順位	氏　名	記　録	順位	氏　名	記　録
41	直井　優	1:40:16	67	金子　啓一	1:55:24
47	吉沢　勇輝	1:43:23	81	星宮　良行	2:09:03
57	本橋　瑠唯	1:47:34	84	金子　文男	2:12:46

キッズの部（スイム 20m/ バイク 1.2km/ ラン 1km）

順位	氏　名	記　録
4	黒尾　康介	0:09:18

8/1（木） 生き生きと輝く

（公財）日本生命財団「生き生きシニア活動顕彰」を受けた片岡長生会・沢長寿会の方たちが、市長を表敬訪問しました。片岡長生会は、高齢者施設への慰問活動や各地で特殊詐欺防止のための寸劇を警察と連携して行っていること、沢長寿会は、高齢者の見守り活動や多世代交流を活発に行っていることなどが評価され、財団から顕彰を受けました。

懇談の中で市長は「両会ともに特色ある活動をされており、ほかのシニアクラブの模範的存在。これからも元気に活動を続けてほしい」と話されました。

8/3（土） まちに響く夏の音

片岡駅周辺で、「夏祭り子ども神輿（みこし）」が行われ、神輿を担ぐ威勢の良い掛け声や片岡長生会の皆さんのお囃子（はやし）がまちに響き渡りました。

この子ども神輿は、平成 28 年に約 20 年の休止を経て復活したもので、片岡商工振興会や地域の有志が中心となり「子どもたちの健全育成や地域での思い出にしてほしい」との思いから行っています。途中の休憩では、よく冷えたスイカや流しそうめんなどが振る舞われ、参加した子どもたちや地域の方たちが舌鼓を打っていました。

8/3（土） ミス・アース栃木代表

ミス・アース・ジャパン栃木代表として日本大会に出場した本市出身の中村 友理子さんが、栃木大会グランプリ受賞、日本大会 32 人中 11 位となった結果を市長に報告しました。ミス・アースは、世界 4 大ミスコンのひとつで、容姿だけでなく環境保全への意識促進や活動も重視されるなど特徴あるコンテストで、今年は全国で約3,000人の応募がありました。

中村さんは「育ったふるさとに貢献し、恩返しがしたい。市内のさまざまなイベントにも関わり、環境保全を促していければ」と今後の抱負を話されました。

8/9（金） 花いっぱいコンクール

矢板市自治公民館連絡協議会による「花いっぱいコンクール」の審査会が行われ、日ごろから心を込めて育てている花の出来栄えを自治公民館 10 館が競いました。どの自治公民館も限られたスペースで工夫を凝らしながら、カンナ・サルビア・マリーゴールドなどの花を植え、公民館利用者や近くを通るドライバーなどの心を和ませ、地域に明るさを与えています。

最優秀賞には、花壇だけでなく色鮮やかな花で公民館の駐車場も彩った東町公民館が見事輝きました。

【最優秀賞】
東町（写真）
【優秀賞】
越畑・大槻
【努力賞】
第一農場・下伊佐野
ハッピーハイランド矢板

8/9（金） 心から寄りそう

片岡中学校の生徒 28 人が宮城県仙台市にある震災遺構「荒浜小学校」で震災当時の様子や復興への歩みを学びました。その後、東松島市「空の駅」を訪れ、支援物資のほか、生徒たちが育てた花を植えたプランター、2013 年に初めて訪問した時からこれまでに参加した生徒たちのメッセージや思い出の写真を張り付けたフォトブックを手渡しました。

受け取った空の駅の竹田さんは「これまでに交流した生徒たちが、ずっとここを気にかけてくれていることがうれしい」と、涙を浮かべながら感謝の言葉を伝えていました。

▲「空の駅」は、小野駅前仮設住宅の方たちが、仮設住宅が無くなるのを機に立てた交流スペースです。
◀贈られたフォトブックを見る空の駅の竹田さん

8/10（土） きれいに光るといいな

川崎城跡公園で、「大そうじ&川遊び体験会」が行われ、約 30 人の親子連れが参加しました。これは、環境保全活動などを行う環境文化都市やいた創造会議が開いたもので、当日は、8 月末に開催される「あんどんまつり」会場の除草作業と宮川沿いの自然観察広場での昆虫採取などを行い、自然と生き物に触れ合う楽しい時間を過ごしました。

子どもたちは「いろんな生き物がたくさん暮らしている公園に、いっぱいのあんどんがきれいに光っているところを見に来たい」と感想を話してくれました。